

# 日本職業教育学会第3回大会

(旧・日本産業教育学会から通算第63回)

## プログラム

日時： 2022年10月15日(土)～16日(日)

会場： 宇都宮大学・峰キャンパス・8号館

[オンライン・対面併用開催]

日本職業教育学会第3回大会実行委員会

## 目 次

1. 日程	2
2. 大会要項	3
3. シンポジウム	5
4. 自由研究発表	7
5. 部会	10
部会 1 (10月15日)	10
部会 2 (10月16日)	12
7. アクセス	14
8. 会場	15

## 1. 日程

日	時間	内容	棟・教室
10月 15日 (土)	10:30~12:00	部会1 若手研究者部会(対面) 中国・四国地区部会	8号館セミナースタジオ 7号館ティーチングコモンズ
	12:00~	受付	8号館入口
	13:00~14:50	シンポジウム	8D11 教室
	15:00~16:30	総会	8D11 教室
16日 (日)	8:30~	受付	8号館入口
	9:30~11:40	自由研究発表 A分科会 B分科会 C分科会	8A21 教室 8A23 教室 8A23 教室
	13:30~15:00	部会2 専門学校部会 国際部会	8A22 教室 8A23 教室

## 2. 大会要項

(1) 期 日 2022年10月15日(土)～16日(日)

(2) 会 場 宇都宮大学・峰キャンパス(栃木県宇都宮市峰町350)

※ オンライン参加の場合は、参加申込者に Zoom の ID、パスワード等を電子メール等でお知らせします。

(3) 受 付 1日目(15日)は12時から、2日目(16日)は8時30分から、いずれも8号館1階入口で受付を行います。

### (4) 参加費

	会員		会員外	
	大会参加費	一般	2,000円	一般
	学生・院生	1,000円	院生・学生	1,000円

・参加申し込みと支払い方法について。学会・大会ウェブページ上のリンクより PassMarket に進み、9月26日(月)までに申し込みと支払いをお願いします。

・PassMarket:パソコン、スマートフォン、タブレットから利用できます。Yahoo! JAPAN ID があれば、参加費の支払いは、PayPay 残高、クレジットカード、コンビニエンスストア決済、Yahoo!ウォレットを利用いただけます。

・大会当日の支払いはご遠慮ください。

#### 【留意事項】

・会員でない学生/院生の方は、学生証の画像データを下記のメールアドレスへ送付して下さい。

・YahooID を作らない場合の支払いは、クレジットカードのみとなります。

・コンビニエンスストア決済の場合も、支払いは9月25日までをお願いします。

・Zoom や発表要旨に関する情報を、申し込みをしていない方と共有しないでください。

(5) 研究発表 ・個人発表・共同研究発表とも、1件の発表時間は20分、質疑5分、合わせて25分となります。また、各分科会ともすべての発表・質疑終了後、総括討論を行います。

・発表辞退者が生じた場合でも発表時刻及び発表順序の変更は

行いません。

- ・研究発表用の配布資料等は、各自が必要部数（30部以上）を持参してください。資料の事前送付はトラブルのもとになります。ご遠慮ください。

(6) 昼 食 ・第1日目、第2日目いずれも生協食堂は営業しておりません。キャンパス内のコンビニエンスストア、大学周辺の食堂等をご利用ください。

(7) 控 室 ・第2日目に会員控室（8号館2階小会議室）を用意します。ご利用ください。  
・キャンパス内での喫煙は禁止されております。

(8) 連絡先 日本職業教育学会第3回大会実行委員会  
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
宇都宮大学共同教育学部・丸山剛史研究室内  
Tel・Fax：028-649-5336  
Tel：090-3514-1081（緊急時のみ、丸山）  
E-mail：marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp

### 3. シンポジウム ※シンポジスト等、いずれも Zoom 参加

10月15日(土) 13:00~14:50

8号館1階・8D11教室

テーマ「ものづくりにおける技能伝承とこれからの技能者養成のあり方」

シンポジスト：

(1) 西川 篤志氏 (熱田起業(株)・統括部長、あいちの名工、一級技能士(旋盤))

「ニッチ企業の観点から見たデジタル化と技能者養成について」

(2) 鯉江 充治氏 (前デンソー工業学園 学園長)

「自動車関連先端的企業の観点から見た今後の技能者養成の方向性」

(3) 田村 豊氏 (愛知東邦大学経営学部)

「スウェーデンの自動車産業と技能者育成の現状と課題」

指定質問者： 谷口 雄治氏 (元職業能力開発総合大学校)

コーディネーター： 横山 悦生 (名古屋産業大学)、三宅 章介 (同左)

【趣旨】 我が国は、戦後加工貿易による工業製品の輸出を通して高度成長を実現してきた。しかし、今後少子高齢社会が進展していくことを踏まえると、一人当たり付加価値生産額の高い製造業を一層発展させていくことが求められている。そのためには、技術革新とデジタル化の推進、それに対応する技能伝承とそれを担う人材育成が不可欠である。

さて、その製造業の規模別割合であるが、2006年度では大企業0.5%、中規模10.8%、小規模88.7%程度である。その特徴的なことは、中規模企業の多くは大企業の系列下であり、その下には更に多くの小規模企業が連なっている。大企業が維持存続していくためには、これらの多くの中規模・小規模企業によるところが大きい。しかし、その中小企業は人手不足が顕著で、年々、減少傾向を示している。

さらに、生産規模は3K職場と言われるように、働く環境は総じて良くなく、近年、若者の求人難は増加しつつある。加えて、経済の発展とともにサービス経済化が進み、製造業の労働者はサービス業の半数程度になっており、その差は、今後ますます大きくなろうとしている。製造業の将来性にはなかなか厳しいものがある。

自動車産業や家電産業のような大企業においては、IoTやAI等デジタル機器の導入は今後ますます進むであろうが、中規模・小規模企業の多くは人手不足の中でこうした生産の高度化に対応するためには一層の技術革新とデジタル化

が避けられない。これからのものづくりは、企業規模の大小を問わずデジタル技術の導入が一層進むであろうことは言うまでもない。特に中小企業(大企業における生産技術分野)のうち、精密機械工作を担う事業所は多品種少量生産であり、今後はデジタル技術(形式知)と、技能(暗黙知)の双方に精通した技能者を育成していかなければならない。つまり、デジタル化した機械の運転には、単に入力すれば機械が動くというのではなく、もし不具合などが起きた際には機械の技術的メカニズムと同時にデジタル技術を知らなければその不具合箇所が分からず、高価な機械はストップしたままになり作業はストップする。落ちてしまう。単なるメカニズムだけでなく、それに最新の形式知であるデジタル技術が結び付いているからである。さらに、加工に関してもそのような機械に入力するのであるから、運転の順序だけにとどまらず、メーカーごとの材質の特質の特徴点、工作物に合わせた段取り、工作順序などを理解しなければ運転できない。つまり、デジタル化した工作機械は入力に応じてしか運転できないので、様々な加工条件を知った上で入力したとき初めて、その機械が使いこなせるのである。これは技能面であり、高度な暗黙知を要求されるのである。これまでのメカニズムだけの工作機械の運転とは異なるのである。

今日、新しい技能者の育成が求められている。そのような技術・技能を有する中小企業の保護・育成こそ、人材育成とともに我が国におけるものづくり立国の今後の大きな課題である。

そこで、今大会のシンポジウムは、これからの我が国の経済を担う製造業の新たなものづくり人材の育成、特に生産現場の技術革新とデジタル化に対応できる技能者養成のあり方について、職業教育・訓練の観点よりスウェーデンの事例と比較しながら、議論していくことにしたい

#### 【シンポジウムの論点】

- (1) デジタイゼーション\*は仕事・職務にどのような変化をもたらすのか、その問題点は何か。
- (2) 上記の仕事・職務の変化によって求められる人材・技能に変化はあるのか、その問題点は何か。
- (3) 上記の人材・技能の変化があるならば、その人材育成や技能教育・訓練に新たな方法が求められるのか、その問題点は何か。

\* アナログ情報をデジタル形式に変換する「デジタイゼーション」は、「デジタイゼーション」のプロセスを可能にする。また、デジタイゼーションの社会全体への影響を「デジタルトランスフォーメーション」と説明される。デジタイゼーションは、産業・組織・市場などの中で技術的に誘発されて「組織プロセス」または「ビジネスプロセス」が変化することであり、製造業のデジタイゼーションにより、モノのインターネット(IoT)、産業用インターネット、Industry 4.0、マシンツーマシンの通信、人工知能、マシンビジョンなど、今日の新しい生産プロセスや現象の多くが可能となった。

#### 4. 自由研究発表

##### 【A 分科会】技術教育・職業教育の歴史と現在

10月16日（日）9：30～11：40

8号館2階・8A21教室

司会： 疋田 祥人（大阪工業大学）

- |             |  |
|-------------|--|
| 9：30～9：55   | 1. 商業高校において厳しい生徒指導と検定試験が果たす役割<br>森脇 一郎（常葉大学経営学部） |
| 9：55～10：20  | 2. 戦前期の理髪制度について<br>倉田 研一（名古屋大学大学院）               |
| 10：20～10：45 | 3. 郡是女子教育係の養成と退社後の活動に関する考察<br>田中 卓也（育英大学）        |
| 10：45～11：10 | 4. 障害者から見た職業意識と実践とは<br>熊野 花子（放送大学大学院）            |
| 11：10～11：40 | 総括討論   |



【B分科会】専門学校・専門学校生論

10月16日（日）9：30～11：15

8号館2階・8A22教室

司会： 瀧本 知加（京都府立大学）

- 9：30～9：55      1. 専門学校における社会人の学び直しに関する実証的研究  
—大学等を卒業後に医療系専門学校で学び直した社会人の実態調査を通して—  
      滝沢 哲也（福岡大学大学院）
- 9：55～10：20      2. 専門学校生の「好き」を動機とした進学に関する一考察  
—美容系専門学校生への質問紙調査から—  
      小田 茜（久留米大学）
- 10：20～10：45      3. 専門学校生は入学後にどう変化したか？  
—入学時・在学時アンケート調査の事例から—  
      丹田 桂太（九州大学）
- 10：45～11：15      総括討論

【C分科会】諸外国の技術教育・職業教育

10月16日(日)9:30~11:40

8号館2階・8A23教室

司会： 横尾 恒隆(横浜国立大学名誉教授)

- 9:30~9:55     1. イギリスの学士課程教育における職業分野の実践領域と  
                  学術知識の結合の試み：「こども学」を事例として  
                  山田 寛之(法政大学大学院)
- 9:55~10:20    2. ドイツ・バーデン=ヴュルテンベルク州のWBS(経済  
                  /職業・進学オリエンテーション)の特質 —教科書に  
                  おける企業実習の位置づけを中心に—  
                  藤田 駿介(筑波大学大学院)
- 10:20~10:45   3. The Development and Nature of Vocationalisation  
                  Concept for Secondary Education in Ghana  
                  Andrew Charles Frimpong(宇都宮大学大学院)
- 10:45~11:10   4. 転換期における中国中等職業学校の現状と問題点  
                  王 維 亭(千葉大学)
- 11:10~11:40   総括討論

## 5. 部会

### 部会 1

10月15日(土) 10:30~12:00

【若手研究者部会】

8号館1階・セミナー・スタジオ

研究交流会「新たな中等教育の様式と職業教育・進路選択」

本年度の学会大会も、オンラインを活用したハイブリット形式の開催となる予定である。2019年末から3年近く続く新型コロナウイルスは、私たちの教育・研究活動に多大な変化を引き起こし、かつ、新たな生活様式が徐々に定着してきている。

本部会では、昨年度、交流会企画として「コロナ下における職業教育実践・研究の現在とこれから」と題して、高等学校および専門学校の教育の現場で活躍する会員による発表をもとに情報交流をおこなった。その中で、授業や実習など教科科目は必要な対策を講じて実施されているが、教科外活動に大きな制限があり、生徒・学生の学びに何らかの影響を及ぼしていることが示唆された。職業教育にとって、職業意識の明確化と進路選択の手がかりとなってきた学校での特別活動が制限されることは、今後の教育・研究に大きな影響を及ぼすことと考えられる。

本年度は、昨年度の交流会の内容を踏まえ、高等学校において、特別活動を軸とした独自の教育活動を展開する、大阪府の私立高等学校教諭にゲストとしてお話をうかがい、コロナ下における学校活動の制限が生徒にどのような影響を及ぼしているのか、特に進路・職業につながる生徒の変化に焦点づけた検討・交流を実施したい。

(世話人 瀧本 知加)

日時：2022年10月15日(土) 10:30~12:00 対面開催のみ

話題提供： 中村 竜司 (大阪暁光高等学校教諭)

「大阪暁光高校の特別活動と生徒の変化・成長

～コロナ禍で2年ぶりとなった体育大会の取組みを中心に～」

コメンテーター： 調整中

司 会： 瀧本 知加 (京都府立大学)

※ 若手研究者部会では新たな活動様式として「対面」と「オンライン」の併用ではなく「対面」の取組みと「オンライン」の取組みを分けて実施していくこととした。そのため、本部会は、対面のみで開催とする。

【中国・四国地区部会】

10月15日（土）10：30～12：00  
7号館1階・ティーチングcommons

テーマ「職業教育学会で障害者の職業訓練・就業について論じる意味  
～本学会における、シチズンサイエンス・当事者研究の可能性を絡めて～」

中国四国地区部会では、2021年9月より、月に一度サロンと称して情報交換会をオンラインで実施している。2022年2月14日に学会外から熊野花子さん（8月31日時点、本学会入会審査中/仮入会状態）を招き、「働きたくても働けない私の職業観」と題してゲストスピーチ（話題提供）をいただいた。熊野さんは二十歳前に難病を発症され、現在も車椅子生活を送られている。一度も働いた経験は無く、緊急入院も多い方である。しかし、努力されて放送大学にて修士号を得られた。熊野さんのゲストスピーチがとても好評で、計4回のご登壇をいただいた。また、各参加者から貴重な意見・感想をいただいた。

これら意見・感想をさらに深めるため、本年度の大会（宇都宮大学）において、本部会を開催することとした。

開催形式： ZOOMで行うサロン形式を基本とし、宇都宮大学でのリアル面談を併用した研究交流会  
企画・担当： 片山 勝己（中国四国地区部会 事務局）  
コメンテーター： 平田 眞一  
司 会： 調整中

毎月、1回、60分で行っているオンラインサロン（お茶会）を、90分に拡大し開催します。そして、普段より少しだけ「学術性」を意識した「研究交流会」とします。

皆様のご参加を心からお待ちしています。

## 部会 2

10月16日(日) 13:30~15:00

### 【専修学校部会】

8号館2階・8A22教室

テーマ「専門職大学完成年度に向けて」

発表者：古賀 稔邦（学校法人電子学園）

司会：平田 眞一（中国デザイン専門学校）

専門職大学および専門職短期大学は、「学校教育法の一部改正する法律」(2019年4月1日施行)により制度化された。文部科学省がその周知に用いているパンフレットでは、「「第四次産業革命」の進展と国際競争の激化に伴い、産業構造が急速に転換する中、優れた専門技能等をもって、新たな価値を創造することができる専門職業人材の養成が急務。高等専門職業教育の新たな枠組みにより、社会の変化に対応しつつ、人材養成の強化を図る。」とその制度化の趣旨・背景を示している。

専門職大学の主な特色は、次の通りである。

- ・授業の3分の1以上は実習・実技
- ・4割以上の実務家教員
- ・原則40人以下の少人数授業
- ・通算600時間以上の臨地実務実習
- ・基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の授業科目の区分で、教育課程を編成

この制度により、高度な実践力と豊かな創造力を兼ね備えた人材の育成を目的としている。

2022年4月の時点で専門職大学・専門職短期大学は全国に18校あり、その分野の内訳は、医療（動物看護含む）：7、情報ビジネス：5、観光：2、農林環境：2、ファッション：1、食：1である。

この制度を受けて、学校法人電子学園が創設した情報経営イノベーション専門職大学について紹介する。

10月16日（日）13：30～15：00

【国際部会】

8号館2階・8A23教室

テーマ「技術・職業教育の国際的動向と日本の位置」

登壇者：京免徹雄（筑波大学）、寶來敬章（高田短期大学）

本部会ではアジアを中心とする10か国の技術・職業教育の国際比較を記した Trends and Issues in International Technical and Vocational Education in the Indo-Pacific Region（邦題：インド太平洋地域における国際的な技術・職業教育の動向と課題）（Lee, YF. and Lee LS. 2021）にもとづいて、日本の技術・職業教育の可能性や課題について議論する。

対象とする10か国では、後期中等教育から中等後・高等教育までの技術・職業教育が提供されており、職業教育についての重要性は了解されており、韓国の Act on the Development of Vocational Skills of Workers、マレーシアの National Skills Development Act、アメリカの Strengthening Career and Technical Education for 21st Century、オーストラリアの National Agreement for Skills Development and Entrepreneurship、そしてインドネシアの Strategic Plan for 2020-2024 of Directorate General for Vocational Education を見てもわかるように、法的側面から TVE システムの構築を目指している。

TVE のプログラム修了者の就職率は、インド、インドネシア、マレーシアは40～60%で、韓国、シンガポール、ベトナムなどでは70～87%で推移している。日本にいたっては大卒者に限ると97%と高い。産業と学術の結びつきの強化や、卒業生の就職率向上などは、各国の改革に共通するテーマである。とりわけ、先端技術に適応し、第4次産業革命における急速な変化に対応できるスキルをもった学生を育成すること、技術・職業教育におけるテクノロジーの応用を拡大してデジタルトランスフォーメーションを推進すること、仕事に基づく学習モデルや見習い訓練の活用を促進することがトレンドとなっている。

TVE そのものの課題は、社会的認識の低さ（または、否定的な認識）が挙げられる。オーストラリア、インド、台湾、シンガポールなどでは、一般の学校教育の下に位置づいているという認識が強い傾向にある。そして TVE 教員に関する課題は、必要な訓練や経験の不足という、教員の資質能力に関わるものが挙げられる。つまり、職業教育者の養成や研修の問題である。加えて、資格制度や質保証の正統性や職業とのレリバンス、資格の妥当性など、多くの課題が山積していることも本書では指摘されている。

本部会では、筑波大学の京免氏、高田短期大学の寶來氏を登壇者に迎え、本書に記されている10か国を中心にした TVE の現状や課題を挙げたのちに、日本の TVE そのものの状況や、TVE 担当教師の養成や研修の在り方などについて、フロアからの意見も交えて議論をする。（世話人 坂本 將暢）

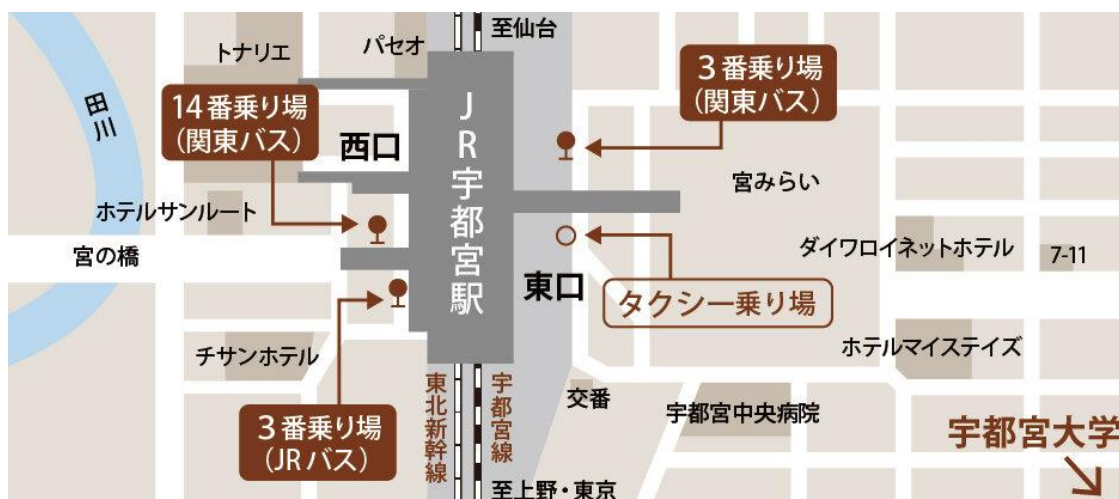
## 7. アクセス

東京から宇都宮までは、東北新幹線で約1時間、東北本線（宇都宮線）でも上野駅から快速で約1時間30分。JR宇都宮駅下車。

### 【バス】

JR宇都宮駅西口からバスで約15分。片道220円。JRバス（3番乗り場）と関東バス（14番乗り場）の2社のバスが運行しています。JRバスの場合、清原台団地、芳賀町役場、祖母井（うばがい）、茂木（もてぎ）、ベルモール行に乗車し、「宇大前（うだいまえ）」下車。関東バスの場合、真岡、益子、海星学院、ベルモール行に乗車し、「宇都宮大学前」下車。

JR宇都宮駅東口からもバスに乗車できます。JR宇都宮駅＝宇大循環（左回り）。乗車時間は約10分。片道170円。関東バスのバスが運行しています。「宇都宮大学前」下車。ただし、運行本数は多くありません（1時間に1本程度）。



### 【タクシー】

タクシーの場合は駅東口タクシー乗り場から約10分。料金は1,000円前後。

## 8. 会場

### 【峰キャンパス内】

15日(土) 部会1、シンポ、総会：⑧8号館(一部、㊸7号館)

16日(日) 自由研究発表、部会2：⑧8号館





日本職業教育学会第3回大会実行委員会

実行委員長 丸山剛史(宇都宮大学)  
実行委員 伊藤一統(宇部フロンティア大学短期大学部)  
尾高進(工学院大学)  
木下龍(千葉大学)  
京免徹雄(筑波大学)  
新谷康浩(横浜国立大学)  
沼口博(大東文化大学名誉教授)  
片山勝己(マツダ(株)／放送大学学生)  
協力 宇都宮大学共同教育学部学生

日本職業教育学会第3回大会プログラム

発行：2022年9月10日

編集 日本職業育学会第3回大会実行委員会  
(宇都宮大学共同教育学部・丸山剛史研究室内)  
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
Tel・Fax：028-649-5336  
Tel：090-3514-1081(緊急時、丸山)  
E-mail：marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp

印刷所 タチカワ印刷  
〒201-0005 東京都狛江市岩戸南1-5-12  
Tel：03-3480-5279  
E-mail：tckw@tokyo.email.ne.jp